

兵高教組

調査情報

2013年5月14日 8号

兵庫県高等学校教職員組合調査部

TEL : 078-341-6745

FAX : 078-351-3185

URL : <http://www.hyogo-kokyoso.com>

mail : honbu@hyogo-kokyoso.com

地方公務員賃金引き下げ問題

今回の不当な賃下げのねらいは何か？

賃金削減のねらいと問題点について考えます。「国家公務員の賃金削減が、どうして地方公務員にまで押しつけられているのでしょうか?」。また、「国は地方交付税を減額してまで、地方に押しつけているのは、なぜでしょう?」。「国が地方にラスパイレス指数100まで下げよ」というのはどういう意味なのでしょう?

賃金削減の本当のねらいは何か？

労働者や国民を無視した「成長戦略」(アベノミクス)によって、財界や大企業が求める「企業負担の減少」のために、賃金水準を更なる低下させて、社会保障負担の軽減させる。

絶対に引き上げなければならない「消費税」

そのために絶対に必要な公務員賃金削減!

削減した金をどうするのか？

防災・減災事業費 5523億円

地域の元気づくり事業費 3000億円

結局大型公共事業に金をまわす!

8,523億円を「アベノミクス」の成長戦略に使う

賃金削減の問題点は何か？

1. 職員の生活を破壊する
2. 地域経済に深刻なダメージを与える
3. 地方自治・労使自治を踏みにじる
4. 国の地方に対する財源確保の責任を投げ出す

問題点の3について、公務員の賃金決定のルールである人事委委員会の勧告制度を無視していることは、調査情報6号でお知らせしました。

地方自治からいって、国が地方に賃下げをどうして押しつけることができるのでしょうか?

ラスパイレス指数とは？

地方公務員の給与額を、同等の職種、経歴に相当する国家公務員の給与額を100として比較した場合に算出されるもので概略下記で示される。

$$LI = \frac{\sum_i B_i N_i}{\sum_i A_i N_i} \times 100 = \frac{B_1 N_1 + B_2 N_2 + \dots}{A_1 N_1 + A_2 N_2 + \dots} \times 100$$

LI : ラスパイレス指数

B1, B2, ... : 対象とする地方公務員(局長、部長等の幹部を含む)の職種階層の各給与額

A1, A2, ... : 国家公務員(事務次官や局長、審議官など800人を超える本省次長以上の幹部職員及び専門スタッフ職を除く)の職種階層の各給与額

N1, N2, ... : 国家公務員(同上)の職種階層の各人数

職員住宅など福利厚生充実した国家公務員に対してその差を補正するため、僅かに高めの数値に設定されるのが常であったが、バブル崩壊後は、民間への配慮もあり100を越す自治体は少数である。

国家公務員と地方公務員の比較では、上記のとおり国家公務員が幹部や高給のスタッフ職の給与を除外しているのに対し、地方公務員が幹部の給与を含めているため、あたかも地方公務員の給与実態が国家公務員に比べて高いとの誤解を生む原因となっている。

兵庫県のラスパイレス指数は、105.8となっており、これを100にせよという押しつけです。この指数による比較は、地域手当が考慮されていません。さらに比較されている国家公務員の給与は、国の財政状況及び東日本大震災に対処する必要性から「特例」として引き下げられている給与であり、その比較自体が意味のないものと言えます。